

8月3日：VN 指数は再び下落に転じる（VN 指数 -0.78%）

- VN 指数はわずかな下落で始まったが、買いが入りその後は落ち着いた動きとなった。
- 午前中の終わりにかけて売りが入る前までは、前日終値付近で横ばいの動きとなっていた。
- 午後に入っても売りは継続した。特に、素材、不動産、銀行といったセクターが売られた。
- 徐々に売りは広がる展開となり、VN 指数は下落して取引を終えた。
- 騰落別でも幅広い銘柄が売られた。154 銘柄が上昇、311 銘柄が下落した。62 銘柄は変わらずだった。
- 流動性は前日比で 12.5%増加し、売買代金は 21.5 兆ドンとなった。

VN30 指数も下落（VN30 指数 -0.86%）

- 時価総額・流動性の大きい 30 銘柄で構成する VN 30 指数は、7 銘柄が上昇、22 銘柄が下落した。1 銘柄は変わらずだった。
- MWG (+1.9%)、SAB (+1.6%)、ACB (+1.5%) といった数銘柄のみが上昇していた。
- 一方、VHM (-2.9%)、TPB (-2.4%)、HPG (-2.4%)、PLX (-2.1%) などが 2%以上の下落だった。

セクター・個別株の動き

- VGI (-1.6%) は 2023 年第 2 四半期の売上が前年同期比 17%増となったが、純利益は 1.2 兆ドンの損失となったことから売られている。
- VCG (-3.8%) は親会社が投資の調整のために同社株 3,900 万株の売却を登録したことから下落した。

- 外国人投資家は694億ドルの売り越しとなった。HPG、VNDやMWGなどが売られた一方、MSN、DCM、CTGなどは買われていた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられるFiinProという情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利はJSIに帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。